

2022年3月5日巣鴨図書館発行

OPACの画面とレシートの見方

館内の端末（OPAC）で本を検索したけれど、何を意味するのか良く分からない…なんて経験はありませんか？
OPACの画面とレシートの見方をご紹介します。

蔵書情報 基本情報 <<OPAC>>

所蔵数 16冊 貸出数 1冊 予約数 0件

所蔵館 絞り込む

No	所蔵館	資料の状態	禁帯	請求記号	資料ID
1	巣鴨	[2階・SDGs常設]に在庫しています。	禁帯出	335ト	3011664699
2	巣鴨	貸出中です。		K0 335	3011667106

<<レシート>>

① 所蔵館	② 禁帯	③ 状態	④ 配架場所/請求記号	⑤
巣鴨		貸出中	2階・SD	K0 335
巣鴨	禁帯	在庫	2階・SD	335 ト

- ①所蔵館（OPAC/レシート）
その本を購入している図書館のみ表示されます。
- ②禁帯（OPAC/レシート）
その本が借りられるかが分かります。
借りられる本は欄が空白になっています。
借りられない本はOPACでは「禁帯出」と表示されます。
また、レシートでは「禁帯」と表示されます。
- ③資料の状態（OPAC）
その本が在庫か貸出中かが分かります。
在庫の場合は本棚の場所が表示されています。
貸出中の場合は「貸出中です。」と表示されます。
状態（レシート）
その本が在庫か貸出中かが分かります。
在庫の場合は「在庫」と表示されます。
貸出中の場合は「貸出中」と表示されます。
- ④配架場所（レシート）
その本が置かれている本棚の場所が分かります。基本的には「本棚のある階・本棚の場所」で書かれています。
階表示の無い「巣鴨特色」は2階、「YA」は地下1階です。
- ⑤請求記号（OPAC/レシート）
本の背表紙に貼られているラベルを表示しています。
図書館の本は基本的に、この番号の順番に並んでいます。

※ どうしても見つからない場合は ※

ご自身で本棚を探したけれど見つからない、どの本棚にあるのか分からない等のお困りのときは、カウンターにいる職員までお気軽にお問い合わせ下さい。
職員が本棚に探しに行ったり、本棚の場所をご案内したり致します。



桜の季節がそこまでやってきました。
先月号でも触れた伐採した桜の木の続報です。

植木屋さんにいただいた枝を使っの草木染、工作にもチャレンジしました。
作品を切り株に並べて、記念写真、いかがでしょう？

桜の思い出と共にいつまでも生きてくれますように❀

編集後記

3月は別れの季節…
図書館も例にもれず、異動がありますので、4月はカウンターに新鮮な顔が見えたり、いつもの顔が見えなかったり…。
人が代わっても、明るい挨拶の伝統？だけは引き継いでいきたいと思っていますので、変わらず図書館をご利用いただければと思います。

今年の桜はどんな彩りを見せてくれるのか❀
希望に満ちた春がくることを願っています。
(M)

今月号は、趣を変えて、すがもがーでん春たよりからスタートします。

今年も菜の花が、元気よく咲きました！

一見、昨年と同じ菜の花ですが、一味違うのは、「昨年咲いたお花から採った種が花を咲かせた」というところです。

イベントの際、何人かの利用者さんにも種をお分けしました。巣鴨図書館の菜の花が、それぞれの場所できれいに咲いてくれていることを願って…

(がーでん世話役)

ここはどこ？
正解はじぞうさんぽ
お読みください❀



じぞうくん

菜の花の次は桜。
今年の桜も元気に
咲きますように❀

イラスト作 S



食いしん坊司書の部屋



甘いものはなんでも好きな
食いしん坊司書…
今回は、その中でも
大好きな「あんこ」話

3月は桃の節句、ホワイトデー、お彼岸、卒業式、お花見と行事がたくさんあるので、美味しいものを食べる機会が目白押しですね。私はお彼岸に食べるおはぎが大好きなので、「あんこ」に注目して本を紹介したいと思います。

あんこは豆から出来ていますが、あずきの花を見たことがあるでしょうか。絵本『あずき』には、豆から芽を出し、見事な黄色い花が咲いて、さやの中にたくさんの豆ができるまでが緻密な絵で描かれています。調べてみると、どうやら4月～5月上旬に蒔いて、夏に収穫できるようです。絵本の中ではひとつの豆から、なんと306粒の豆が出来ていました！

『宇治拾遺ものがたり』の中にも、おはぎが出てくるお話があります。比叡山の延暦寺に預けられた稚児が、お坊さんたちがおはぎを作ろうと話しているのを聞いて、自分も食べたいと思います。しかし、すぐに返事をするのはみっともないと思い、返事を躊躇します。食べたい気持ちと恥ずかしい気持ちを描いた『稚児とおはぎ』という短いお話です。宇治拾遺物語は、鎌倉期、13世紀の前半までに作られたと推定されています。甘い物への気持ちは、昔々から変わらないのだとわかります。

さあ、そろそろ本当のあんこを食べたくなくなってきませんか。『東京あんこ巡り』では、美味しそうなお菓子が紹介されていて、行ってみたいお店ばかりです。巣鴨ではお馴染み・喜福堂さんのあんぱんも掲載されています。「秘伝のあんこが決め手！」だそうです。つぶあんにするかこしあんにするか、いつもどちらにしようか迷ってしまいます。

最後に、わらべ歌をご紹介します。おはなし会の最後に歌ったりします。

♪さよなら あんころもち またきて きなこ

おすすめ本

『あずき』 荒井真紀／さく 福音館書店 (616)
全館所蔵
『宇治拾遺ものがたり』 川端善明／作 岩波書店
(JB) 中央・駒込・巣鴨・上池袋・池袋・目白所蔵
『東京あんこ巡り』 川田裕美／著 KADOKAWA
(596.0力) 巣鴨・千早所蔵

じぞうくんのそぼくな疑問



初めまして、ぼくはじぞう。
心にうつりゆく
ちょっとした疑問を
ここでつぶやいていくよ。



出会いと別れの季節に、そわそわしているじぞうくん、今回は一年間ご紹介した内容を振り返りますよ。

じぞう こんにちは。今日は一年間の記事を一挙に紹介するよ。

- 4月：「日本のファンタジー」
- 5月：「海外のファンタジー」
- 6月：「日本のミステリー」
- 7月：「海外のミステリー」
- 8月：「日本のホラー」
- 9月：「海外のホラー」
- 10月：（特集号準備のため、お休み）
- 11月：「江戸川乱歩特集」
- 12月：「日本のグルメ」
- 1月：「かもくん登場」
- 2月：「かもくんと調べ物」

じぞう 今年はかっぱくんといっしょに、読み物系の読書案内がたくさんできたかな。一口に読み物といっても、いろんなジャンルがあるね。同ジャンルを読むのもいいし、あえてバラバラのジャンルで読むのも面白そう。直木賞や芥川賞以外に、文学賞は色々あるから、新しいジャンルに挑戦する時には、受賞作を探してみるのもオススメ。自分なりの読書の楽しみ方を見つけてね。一年間、ご愛読ありがとうございました。

じぞうくんのおすすめ本はこちら

- ①『このミステリーがすごい!』 宝島社 (コノ)
- ②『本屋大賞』 本の雑誌社 (ホン)
- ③『芥川賞候補傑作選』 春陽堂書店 (アク)

じぞうさんぽ

<アトリエ村ってどこですか？>

池袋駅西口から徒歩10分。劇場通りの目白側の端の、としま産業振興プラザ (IKE・Biz) の7階に、今回最初の目的地、豊島区立郷土資料館があります。現在、『誕生120周年小熊秀雄 遊歩者のスケッチ』と題し、池袋モンパルナスの中心人物として知られる詩人、小熊秀雄が描いた絵の展示会が催されています (3月13日まで)。企画展示室に足を踏み入ると、スケッチや油絵等が所狭しと展示されているのに驚かされます。その数114点 (豊島区所蔵の113点と、画家の寺田政明が描いた小熊の肖像画1点)。スケッチはほとんどが20cmほどの小品ですが、1930年代の池袋を中心とした街の景色やカフェの賑わい、工場や港湾で働く人々が、味のある画風でいきいきと表現されており、単なる余技ではない迫力を感じました。

続いて常設展示へ。文学・マンガ分野のコーナーでは、木版画家の山高登が特集されていました (3月13日まで)。坪田譲治主催の雑誌『びわの実学校』全134号全ての表紙を作画した方で、豊島区の風景も版画の題材になっています。都電や鬼子母神など、5点の作品が、モデルになった場所の写真とともに展示されていました。その後は壁面の地理歴史の展示や、長崎アトリエ村と池袋ヤミ市の模型などを鑑賞。次の目的地に向かいます。

西池袋通りを山手通りまで出たら、通りを渡って右へ。教会の前の道を斜めに入り、すぐの角を左折。そのまま坂道を上がり、20分ちょっとで長崎二丁目中央児童遊園に到着です (隣はジャンプ長崎)。実はここ、長崎アトリエ村のうちの一つ、さくらが丘パルテノン跡地なのです (小熊秀雄も一時期ここに住んでいました)。現在は、公園前に長崎アトリエ村についての掲示板が立てられているのみですが、すぐ近くに洋画家の西田宏道氏が2012年に亡くなるまでお住まいだったアトリエ付き住居が現存しています。現在はリノベーションされているようですが、白い板壁が素敵なレトロなお家でした。

旅のお供に
ふさわしい図書館
蔵書をご紹介します

ともぼん お供本

『小熊秀雄と池袋モンパルナスー池袋モンパルナスそぞろ歩き』 玉井五一／編 オクターブ (KO 911) (全館)

『小熊秀雄ー絵と詩と画論』 小熊秀雄／著 創風社 (中央・池袋・千早)